

アコースティックベースの本格的なサウンドと演奏感を追い求める全てのベーシストへ

## ヤマハ サイレントベース™ 『SLB300PRO』

ヤマハ株式会社は、弦楽器の新製品として、『SLB300PRO』を2月10日（木）に発売します。

当社が開発した「サイレントベース」は、2000年の発売以来、演奏性、可搬性やステージでの使い勝手の良さが評価され、プロの演奏者・ハイエンドアマチュアによるステージ演奏、レコーディングや音楽制作などに幅広く使用されています。

このたび発売する『SLB300PRO』は、限りなくアコースティックベースに近い音質、演奏感を実現した「SLB300」（2020年1月発売）をさらに進化させ、上質なジャズシーンに相応しいプレミアムな外観、仕様そして性能を実現したハイエンドモデルです。

ジャズクラブでドラム、ピアノ、管楽器などの生音と合わせて演奏することで極上の音楽シーンを彩ったり、自宅やスタジオでの音楽制作で使用したりするなど、さまざまな場面でこの新世代サイレントベースがベーシストの活躍を強力にサポートします。



ヤマハ サイレントベース  
『SLB300PRO』

### <概要>

1. さらなる高みを目指してアコースティックベースに限りなく近づいたサウンド
2. アコースティックベースと同じ演奏感を実現する外観構造
3. 理想の演奏を叶える3つのマイクタイプと音質コントロール
4. サイレントベースならではの持ち運びやすさと機能性

品名	品番	価格	発売時期
ヤマハ サイレントベース	SLB300PRO	550,000 円 (税抜き 500,000 円)	2月10日（木）

■ 一般の方のお問い合わせ先：

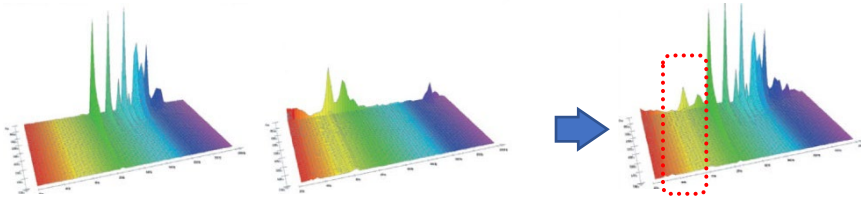
株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター Tel. 0570-013-808

## <主な特長>

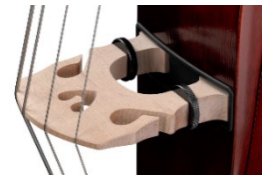
### 1. さらなる高みを目指してアコースティックベースに限りなく近づいたサウンド

当社独自の、アコースティック楽器の共鳴胴による響きをリアルタイムで再現する「SRT (Studio Response Technology) パワードシステム」に加え、弦の振動を伝達するブリッジには以前に限定モデルとして販売した「SLB200LTD」で好評だった独自の木材改質技術「Acoustic Resonance Enhancement (A.R.E.)」を採用し、アコースティック楽器と錯覚するような高品質なサウンドを実現しました。「SRT パワードシステム」は胴体のない楽器では拾えない低音部の共鳴音をしっかりと捉えることで、高品位なマイクでスタジオ録音したかのような音を、「A.R.E.」は新品でありながらまるで長年弾きこんだかのような、レスポンスの良いクリアな音を生み出します。

それぞれの周波数特性



左から、共鳴胴のない楽器、低域の共鳴音、「SRT」で合成した『SLB300PRO』  
※イメージ図



「A.R.E.」を施したブリッジ

### 2. アコースティックベースと同じ演奏感を実現する外観構造

コンパクトでシンプルな外観ながらも、アコースティックベースと同じ位置に配置した駒、指板、ネックなどのパーツや、その形状をかたどったフレーム、楽器が回転しない重心設定により、アコースティックベースと同じ感覚で演奏することができます。

ネックにトラ奎柄の上質なカーリーメイプルを使用するだけでなく、指板には「SLB200LTD」で好評だった希少な黒檀材を採用し、立ち上がりの早い音と自然な演奏感を実現しました。ヘッドにある機械式ペグ（糸巻き）は厚手の形状とすることで剛性が高まり、操作感を向上させています。

また底部にある金属製テールワイヤーの素材を見直したことにより、さらに柔らかく、箱鳴り感のあるアコースティック楽器のような演奏感へと進化しました。



テールワイヤー

### 3. 理想の演奏を叶える3つのマイクタイプと音質コントロール

ボディの共鳴音をシミュレートした3つのマイクタイプ—「Rich (リッチ)」「Simple (シンプル)」「Warm (ウォーム)”—を切り替えたり、バス、トレブルのEQ、ピックアップからの直接の信号とシミュレートしたマイク信号のミックス量を調整したりすることで、曲のジャンルや楽器の編成に合わせたお好みの音を生み出すことができます。

また、べっ甲調のコントロールパネルは金メッキのペグと併せて外観のアクセントとなり、高級感を演出します。



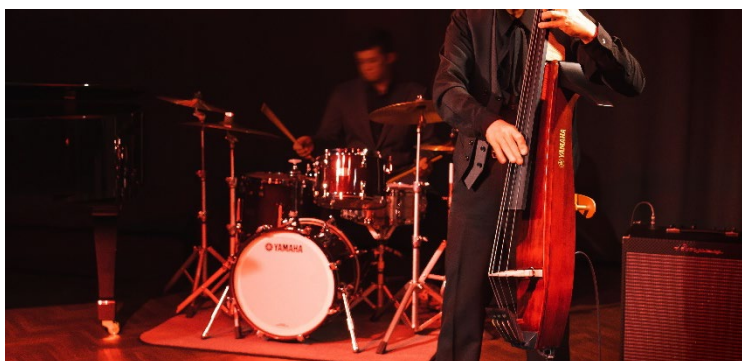
#### 4. サイレントベースならではの持ち運びやすさと機能性

ボディに木材を使用しながらも本体の重さは約7kgと軽量で、付属のケースに収納すると容積比はアコースティックベースの4分の1ほどになり、ライブハウスやスタジオへも手軽に持ち運ぶことができます。また楽器の特性に最適なピックアップシステム・プリアンプを搭載しているため、面倒な調整が不要で、ベースアンプやミキサーなどいろいろな機材に接続できます。高温多湿な場所や屋外でも安心して演奏できる仕様となっています。



製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

[https://jp.yamaha.com/products/musical\\_instruments/strings/silent\\_series/slb300\\_series/](https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/strings/silent_series/slb300_series/)



ステージでの使用イメージ

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

---

#### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：稲満（いなみつ）

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)（取材申し込みや広報資料請求が可能です）

#### ■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター

TEL. 0570-013-808（ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金）

---